

取扱説明書

保証書付き

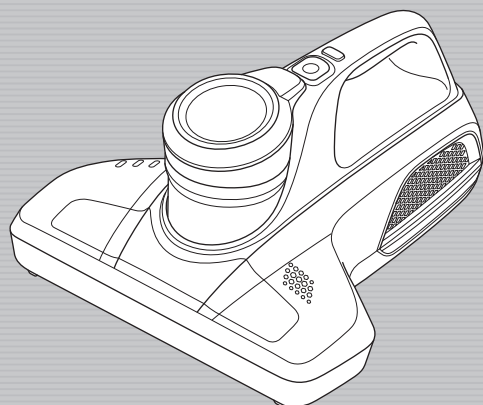
保証書は裏表紙に付いています。

日立ふとんクリーナー

型式

ピーブイ エフシー

PV-FC100



このたびは日立ふとんクリーナーをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

この掃除機は家庭用、屋内用です。業務用や掃除以外の目的、および屋外ではご使用にならないでください。

ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。

お読みになったあとは、保証書とともに大切に保存してください。

「安全上のご注意」→(P.3~4)をお読みいただき、正しくご使用ください。

HITACHI

Inspire the Next

もくじ

ご使用の前に

各部のなまえ	2
安全上のご注意	3
使用上のお願い	4

使いかた

運転のしかた	5
お掃除のしかた	6

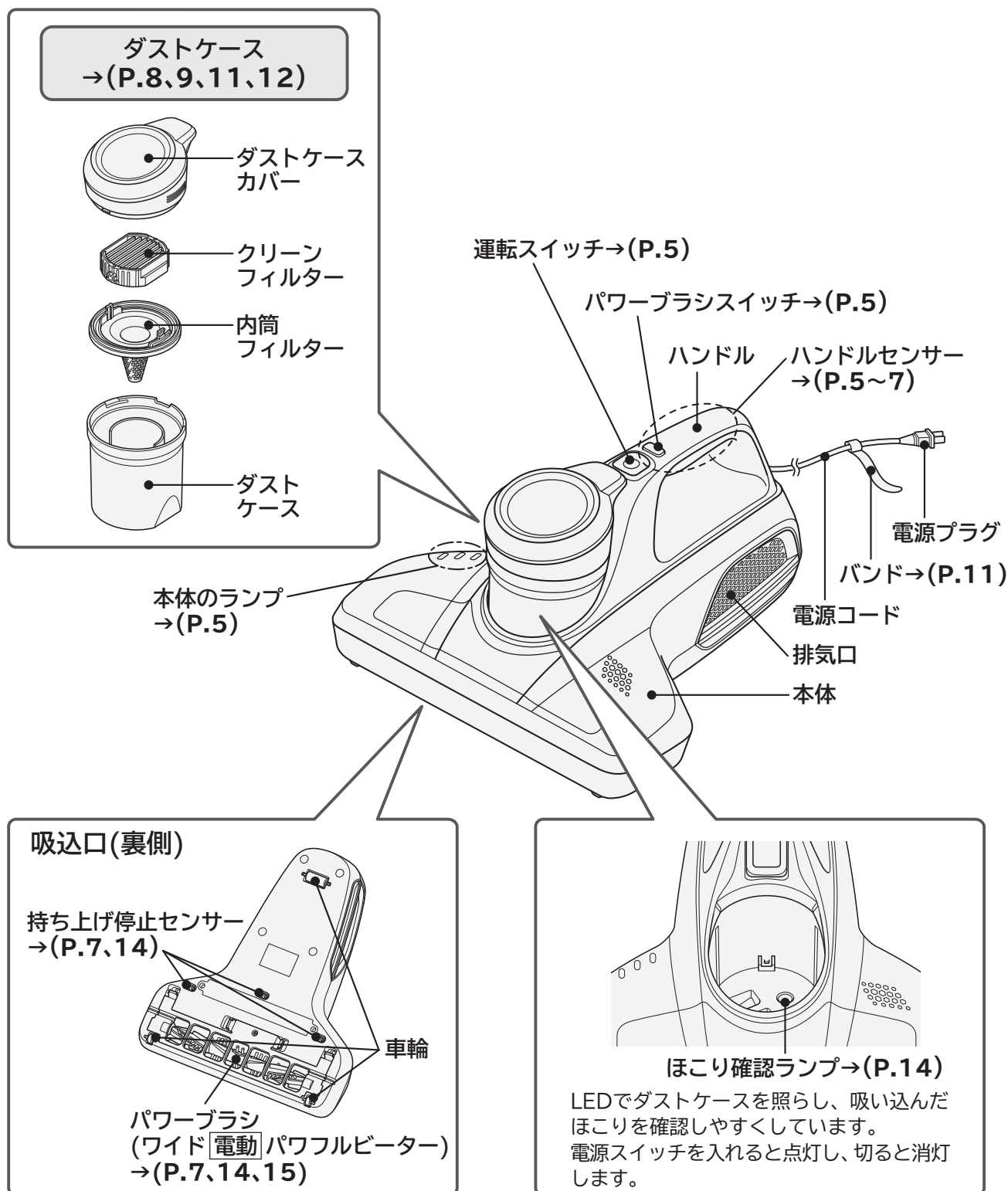
お掃除が終わったら

ごみの捨てかた	8
ごみすてラインの確認のしかた	8
ダストケースの取り出しかた	8
ダストケースのごみの捨てかた	9
クリーンフィルターのごみの捨てかた	10
ダストケースの取り付けかた	11
あとかたづけ	11
吸込力が弱くなったら	12
各フィルター	12
お手入れのしかた	14
本体	14
吸込口	14

こんなときは

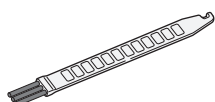
お困りのとき	16
保証とアフターサービス	18
別売り部品	19
仕様	19

各部のなまえ



付属応用部品

お手入れブラシ (1個)



付属応用部品は、個別にお買い求めいただけます。お買い上げの販売店にご相談ください。→(P.18、19)

安全上のご注意

必ずお守りください

ご使用になる人や、ほかの人への危害、財産への損害を未然に防止するため、お守りいただくことを次のように説明しています。また、本文中の注意事項についてもよくお読みのうえ、正しくご使用ください。

■表示内容を無視して誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。表示内容を守らないことにより生じる危害や損害については、負担をおいかなますのでご了承ください。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷を負うことが想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「軽傷を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される」内容です。

絵表示の説明



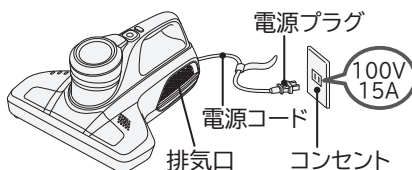
「警告や注意を促す」内容のものです。



してはいけない「禁止」内容のものです。



必ず実行していただく「指示」内容のものです。



警告

異常・故障時には直ちに使用を中止する



- ・スイッチを押してハンドルを持っても、運転しない
- ・電源プラグやコードを動かすと、通電したりしなかったりする
- ・運転中、時々止まる
- ・運転中、異常な音がある
- ・本体が変形したり、異常に熱い
- ・こげくさい“におい”がする
- ・その他の異常がある

発煙・発火・感電のおそれがあります。

すぐにスイッチを切り、電源プラグを抜いて、販売店へ点検・修理を依頼してください。

コンセント・電源プラグ・電源コード



- 定格15A以上・交流100Vのコンセントを単独で使う
- 電源プラグは根元まで確実に差し込む
- ごみ捨てやお手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜く
- 電源プラグのほこりなどは定期的に乾いた布でふき取る

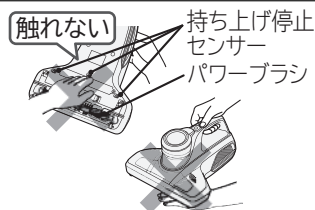


- 電源コードを傷つけない
傷つけ・加工・無理な曲げ・引っ張り・ねじり・重いものを載せる・挟み込む・きつく束ねたり、針金などで束ねるなどしない
- 傷んだ電源コードや電源プラグ、ゆるんだコンセントは使用しない
- 電源コードをパワーブラシに巻き込まない
- ぬれた手で抜き差ししない
- 電源コードを束ねたままで使わない
火災・感電の原因となります。

パワーブラシ(吸込口)



- パワーブラシや持ち上げ停止センサーには触れない
ハンドルを持ちながら持ち上げ停止センサーに触れると、パワーブラシが回転し、けがの原因となります。特にお子さまにはご注意ください。
- 本体を引くときに、体の一部(手や足の上など)に乗り上げない
けがの原因となります。



その他



- 引火性のもの、可燃物、火気のあるものの近くで使用しない、吸わせない〔灯油、ガソリン、シンナー、ベンジン、トナー、鉄粉、洗剤、多量の小麦粉、可燃性ガス(スプレー)、たばこの吸い殻など〕
- 先端が尖ったものを吸わせない(押しピン、針、つまようじ、ヘアピンなど)
- じゅうたん洗剤などの泡状のものを吸わせない
- 改造はしない。修理技術者以外の方は、分解したり修理をしない
- 水洗いをしたり風呂場で使用しない(水洗いできる部品は除く)
爆発・火災・感電・けがの原因となります。



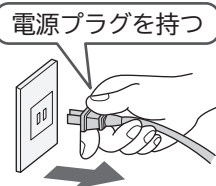
安全上のご注意(続き)

⚠ 注意

コンセント・電源プラグ・電源コード



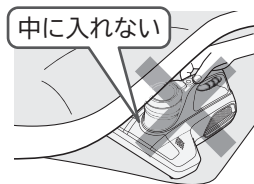
- 使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く
絶縁劣化による感電・発火の原因となります。
- 電源プラグをコンセントから抜くときは、電源コードを持たずに先端の電源プラグを持って引き抜く
- 電源コードや電源プラグを無理に引っ張らない
電源コードが傷つき、ショート(短絡)して感電・発火することがあります。
運転終了直後は、電源プラグの刃先が熱くなることがあり、やけどのおそれがあります。



パワーブラシ(吸込口)



- 吸込口をふさいで長時間運転しない
ふとんの中に入れたまま運転しない
過熱による本体の変形・発火の原因となります。



排気口



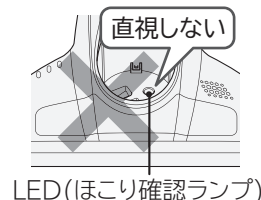
- 排気口をふさがない
過熱による本体の変形・発火の原因となります。
- 排気口から出る風を、長時間体に当てない
低温やけどをすることがあります。



その他



- 火気に近づけない
本体の変形によりショート(短絡)して感電・発火の原因となります。
排気により炎が大きくなり、火災の原因となります。
- LED(ほこり確認ランプ)の光を直視しない
目を痛めることがあります。



使用上のお願い

故障などを防ぐために、次のことをお守りください。

また、本文中の **お願い** 事項についてもよくお読みのうえ、正しくご使用ください。

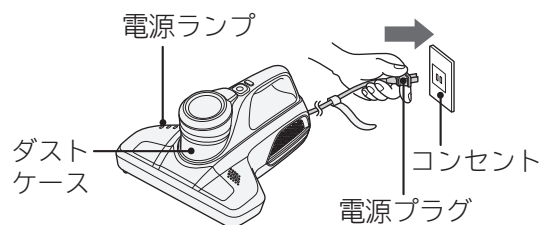
- 電源コードは無理に引っ張らない
断線の原因となります。
- 本体を強くぶつけない
変形・破損の原因となります。
- 本体に乗らない
故障の原因となります。
- ふとん、マットレス、ベッドカバー、毛布、まくら、座布団、布製のソファなどの布製品
のみに使用する
本体および生地など傷める原因となります。
- フローリング、畳、刺繍やフリンジ、凹凸のある生地、レース、電気カーペット、電気毛布、電気敷布、濡れている生地、革製品などには使用しない
本体および生地などを傷める原因となります。
- 次のようなものは吸わせない
異臭や故障の原因となります。
 - ・水や液体 ・湿ったもの ・吸湿剤(湿気取り)
 - ・多量の砂や粉 ・長いひも ・ガラス
- 水洗いした部品は十分に自然乾燥させる
異臭や故障の原因となります。

運転のしかた

1

電源コードを伸ばし、電源プラグをコンセントに差し込む

電源プラグをコンセントに差し込むとメロディーが鳴り、電源ランプが青点灯します。



警告

火災のおそれあり

電源コードを束ねたままで使わない、定格15A以上・交流100Vのコンセントを単独で使う延長コードを使用したり、ほかの電気製品と同時にコンセントをご使用にならないでください。

お願い 電源プラグを差し込むときは、ハンドルから手を離して差し込んでください。
ハンドルを持ったまま電源プラグを差し込むと、正しく運転しないおそれがあります

2

運転スイッチを押す

- ・ハンドルを持って運転スイッチを押すと運転を開始します。ハンドルから手を離すとメロディーが鳴り始め、待機状態となり運転が止まり、ハンドルを持つと運転を再開します。→(P.6、7)
- ・運転を止めたいときは、「切」に切り替えてください。

運転スイッチ

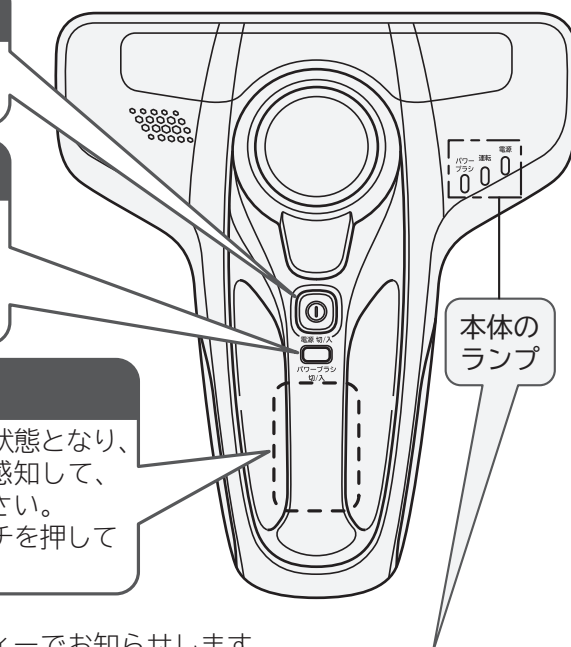
「強」→「標準」→「切」→「強」…の順に切り替わります。

パワーブラシスイッチ

「切」→「入」→「切」…の順に切り替わります。
本体の運転が止まっているときに、パワーブラシスイッチを押しても運転しません。
また、パワーブラシも回転しません。

ハンドルセンサー

ハンドルから手を離すとメロディーが鳴り始め、待機状態となり、運転が止まります。ハンドルを持つと、センサーが感知して、運転を再開します。[]の部分を持って操作してください。
ほかの部分ではセンサーが感知しません。運転スイッチを押していないときは、ハンドルを持ってても運転しません。



●点灯 ●点滅 ○消灯 運転状態を本体のランプとメロディーでお知らせします。

運転状態		パワーブラシ	運転	電源	メロディー
電源プラグをコンセントに差し込むと点灯します。		○	○	●	有
運転中	運転中のお知らせです。 パワーブラシは回転しています。	●	●	●※3	無
	運転中のお知らせです。 パワーブラシは回転していません。	○	●	●※3	無
センサー作動中	持ち上げ停止センサー作動中のお知らせです。 パワーブラシの回転が止まります。	●	●	●	無
待機状態	待機状態のお知らせです。※1 運転再開時、パワーブラシが回転します。	●	●	●	有
	待機状態のお知らせです。※1 運転再開時、パワーブラシは回転しません。	○	●	●	有
自動停止	自動停止のお知らせです。※2 (自動停止前の運転状態がパワーブラシ「入」のとき) 運転スイッチを押すと「強」運転を開始します。パワーブラシは回転します。	●	●	●	無
	自動停止のお知らせです。※2 (自動停止前の運転状態がパワーブラシ「切」のとき) 運転スイッチを押すと「強」運転を開始します。パワーブラシは回転します。	○	●	●	無

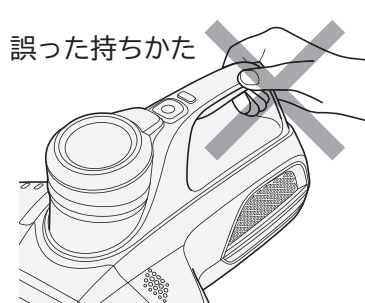
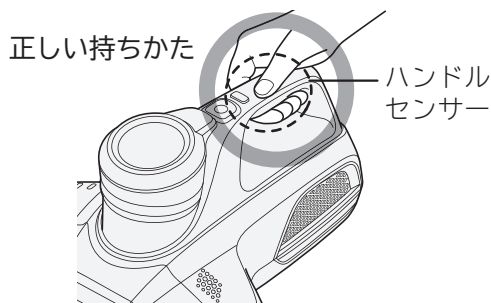
※1 待機状態から約40秒間はランプが点滅し、ピピピピピ…とメロディーが鳴り続けます。

※2 待機状態が約40秒間続いた場合、ランプは点滅したままメロディーは停止し、本体の運転を自動停止します。
約10分後にランプは消灯します。

※3 運転中に電源ランプが点滅したときは、フィルターお手入れのお知らせです。→(P.8)

お掃除のしかた

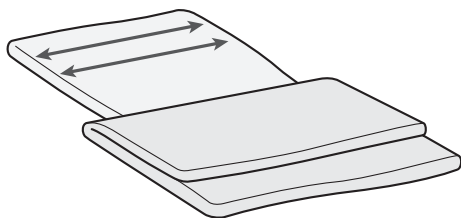
- ふとんやマットレス、ベッドカバー、毛布、まくら、座布団、布製のソファなどの布製品のお掃除にお使いください。
- 新しいふとんや毛布の場合、あそび毛がたくさん取れることがあります。
- お掃除する面を平らにしてから、ハンドルを持って布面を強く押しつけずに、本体を前後にゆっくり動かします。引くときにほこりなどがよく取れます。
- 布地などを巻き込むと、パワーブラシの回転が止まります。運転スイッチを入れ直してください。



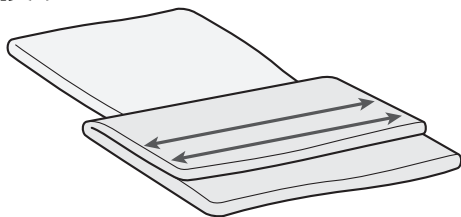
- お願い** ● の部分を持って操作してください。ほかの部分ではセンサーが感知せず運転しません。→(P.5)
- フローリング、畳、刺繍やフリンジ、凹凸のある生地、レース、電気カーペット、電気毛布、電気敷布、濡れている生地、革製品などには使用しないでください。本体および生地などを傷める原因となります。

毎日のお掃除に

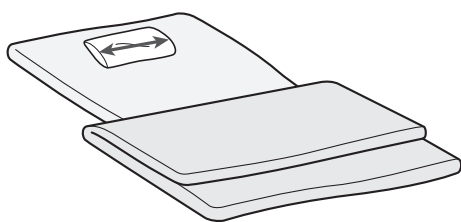
1 枕を置く位置を往復する



2 顔に触れる位置の掛け布団を往復する

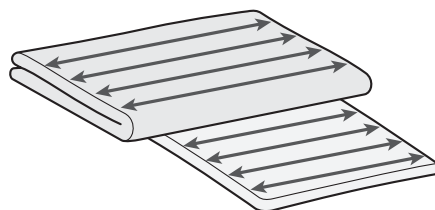


3 枕を往復する

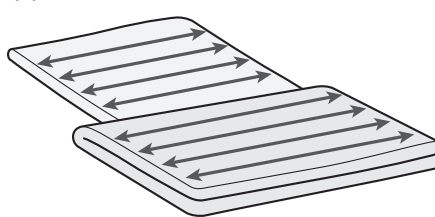


しっかりお掃除したいとき

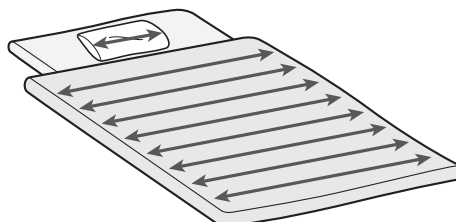
1 足元側の掛け布団を半分に折りたたみ、往復する



2 掛け布団を反対側へ折りたたみ、往復する



3 掛け布団のおもて面と、枕の両面を往復する



敷き布団の裏面も、1か月に1回程度お掃除してください。

- お願い** 布面を平らにしてから、強く押しつけないようにお掃除してください。たわんだ状態でお掃除すると、布地を巻き込み、布地を傷める原因となります。

■ecoアイドリングストップ機能について

- ハンドルから手を離すと、センサーが作動して自動で待機状態に切り替えます。
ハンドルを持つと運転を再開します。→(P.5、6)
- 待機状態が約40秒間続いた場合、本体の運転を自動停止します。

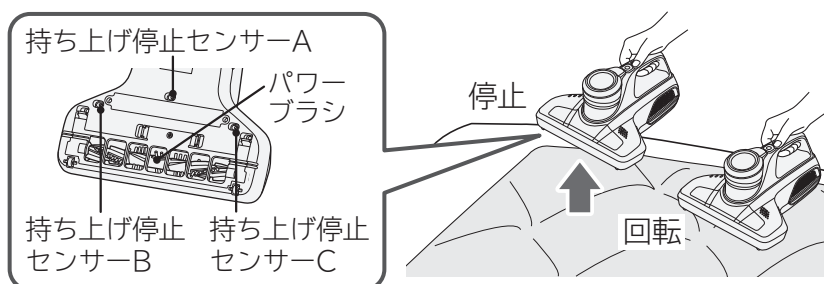
	待機状態(アイドリング)	自動停止(ストップ)
本体のランプの色	青点滅	青点滅(約10分後に消灯します)※
メロディー	ピッピッピッ・・・	—
運転を再開するとき	ハンドルを持つと待機状態前のモードでの運転を再開します。	ハンドルを持って運転スイッチを押すと「強」運転を開始します。

※電源ランプは点灯したままです。

■持ち上げ停止センサーについて

本体を布面から浮かせると、安全のために持ち上げ停止センサーが作動して、パワーブラシの回転が止まります。

黒や紺など暗めの色のふとんや毛布など、生地の種類や状態によっては、持ち上げ停止センサーが作動し、パワーブラシの回転が止まる場合があります。



持ち上げ停止センサーAを布面につけた状態で、持ち上げ停止センサーB・Cの両方もしくはどちらかを布面につけると、パワーブラシが回転します。

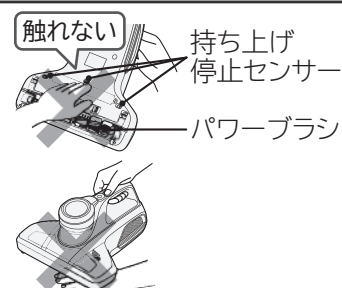
持ち上げ停止センサー部のお手入れは→(P.14)



警告

けがのおそれあり

パワーブラシや持ち上げ停止センサーには触れない
ハンドルを持ちながら持ち上げ停止センサーに触れると、
パワーブラシが回転し、けがの原因となります。
特にお子さまにはご注意ください。
本体を引くときに、体の一部(手や足の上など)に
乗り上げない
けがの原因となります。



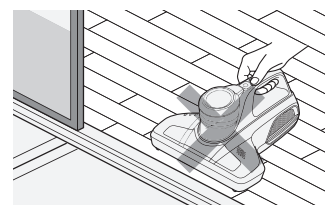
注意

床面に傷を付けるおそれあり

フローリングや畳などをお掃除しないでください。

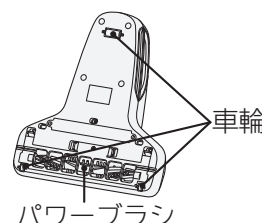
布面に傷を付けるおそれあり

運転中は吸込口を同じ位置に止めたままにしない
吸込口を布面に強く押しつけない
傷つきやすい布の場合、生地などを傷める原因となります。

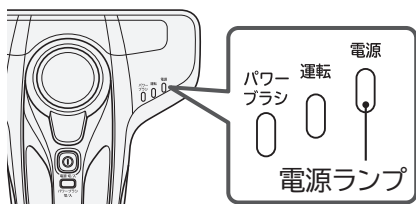


布面に傷を付けるおそれあり

- 車輪にごみが絡みつくと、車輪が回転できず、摩耗と布傷つけの原因となります。
定期的(月1回程度)にお手入れしてください。→(P.14)
- 車輪、パワーブラシが摩耗しているときは、お早めにお買い上げの販売店にご相談ください。→(P.18、19)



■フィルターお手入れサインについて



運転中に「電源ランプ」が点滅したときは、フィルターお手入れのお知らせです。
※待機運転のときは点滅しません。

ごみがいっぱいでも「電源ランプ」が点滅しない

綿ごみなどが多いとき
お掃除が終わったら「内筒フィルター」と「クリーンフィルター」のごみを捨ててください。

ごみが少なくても「電源ランプ」が点滅する

- フィルターが目づまりしているとき
ごみ捨て/ダストケース・各フィルターのお手入れをしてください。→(P.9~11)
- 吸込口をふさいだままの運転
吸込口をふさいでいるものを取り除いてください。
- お部屋の温度が高いときなど(特に夏場)
お部屋の温度が高いときや布団の温度が高いときは、モーターの過熱防止のため自動的に電力を抑える運転をすることがあります。異常ではありません。

各フィルターをお手入れしても「電源ランプが点滅する」または「吸込力が弱い」

各フィルターを水洗いしてください。→(P.12、13)

ごみの捨てかた

サイクロン式のクリーナーは、「紙パックがいらない」という特長を持っていますが、強い吸込力で
お掃除していただくためには、こまめなごみ捨て、フィルターのお手入れをおすすめします。

- お掃除が終わったら、ごみが「ごみすてライン」を超えていないか確認してください。
- ダストケースのごみは、「ごみすてライン」を超える前に捨ててください。
「ごみすてライン」を超えると、ごみが出にくい場合があります。



警告

感電・けがのおそれあり

ごみ捨ての際は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

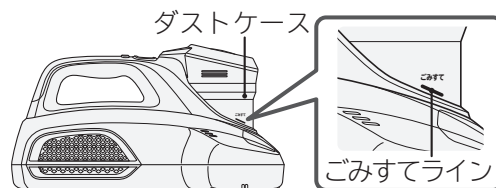
お願い

ごみ捨ての際に細かなほこりが舞い上がることがあります。
屋外など、換気のよい環境でごみ捨てをしていただくか、マスクを着用するなどして、ほこりを
吸い込まないようにしてください。

ごみすてラインの確認のしかた

ダストケース内のごみが「ごみすてライン」を超えて
いないか確認する

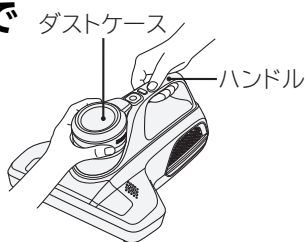
ダストケースのごみ捨ての際は、「ダストケース」、「クリーン
フィルター」、「内筒フィルター」のごみを捨ててください。
→(P.9~11)



ダストケースの取り出しかた

1

ハンドルを手で
押さえる



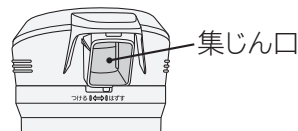
2

ダストケースを
持ち、上に引き
上げる



お願い

- ダストケース取り付け部にごみがこぼれたときは、ごみを取り除いて
から元どおりダストケースを取り付けてください。
- ダストケースを持つときや置くときは、集じん口を下に向けないで
ください。ごみがこぼれる場合があります。



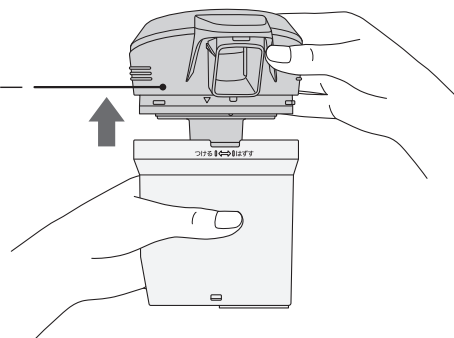
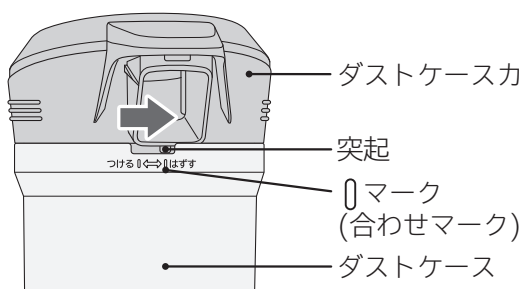
ダストケースのごみの捨てかた

1

ダストケースカバーを取り外す

1 ダストケースカバーの突起を、ダストケースの「はずす」のマーク(合わせマーク)方向に回す

2 ダストケースカバーを真っすぐ上に持ち上げる

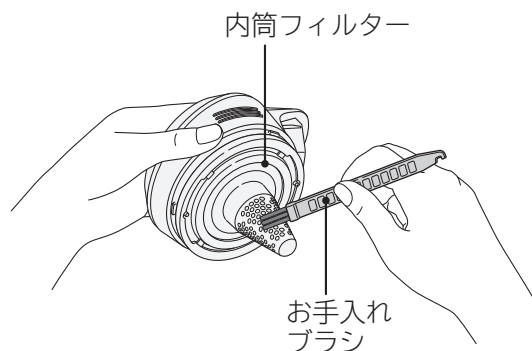
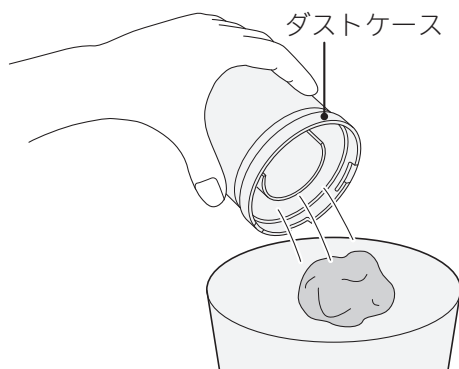


お願い 持ち上げるときにゴミがこぼれる場合があります。新聞紙などで外してください。

2

ダストケースのごみを捨て、付着したごみを取り除く

内筒フィルターに付着したごみやほこりは、お手入れブラシで取り除いてください。



注意

けがのおそれあり

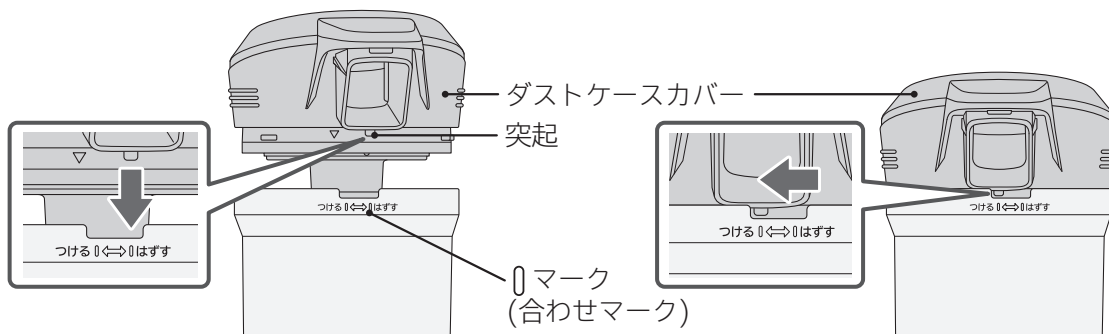
ガラスの破片や虫ピンなど鋭利なものを誤って吸い込んでいる場合があります。注意してお手入れしてください。

3

ダストケースカバーを取り付ける

1 ダストケースカバーの突起を、ダストケースの「はずす」のマーク(合わせマーク)に合わせる

2 ダストケースカバーを「つける」のマーク(合わせマーク)方向に回す



ごみの捨てかた(続き)

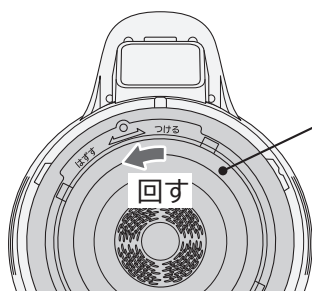
クリーンフィルターのゴミの捨てかた

1 ダストケースカバーを取り外す→(P.9)

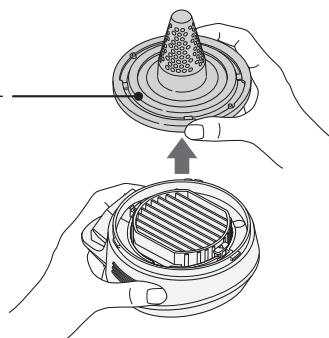
2 内筒フィルターを取り外す

1 内筒フィルターを「はずす」の方向に回す

2 内筒フィルターを持ち上げる

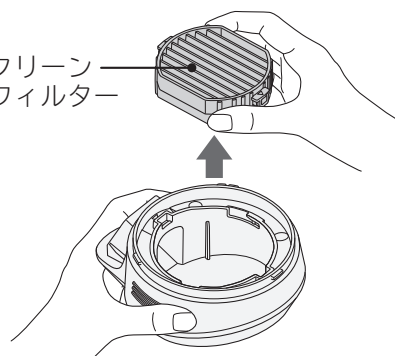


内筒フィルター



3 クリーンフィルターを取り外す

クリーン
フィルター

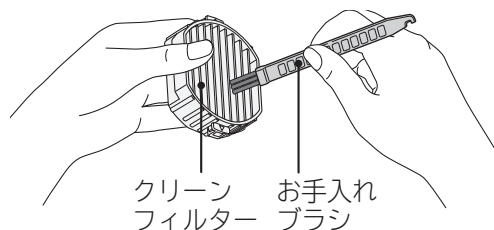


4 付着したゴミを取り除く

クリーンフィルターの表面に付着したゴミをお手入れブラシで取り除いてください。

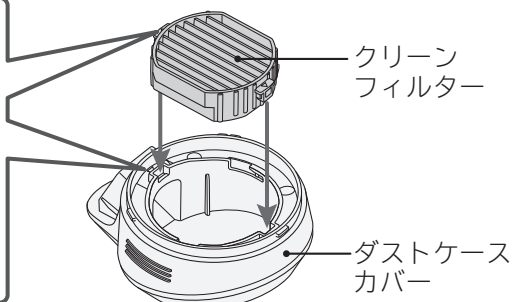
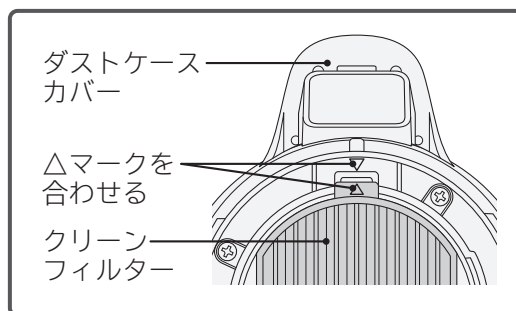
お願い

ゴミを取り除くときは、クリーンフィルターを床面などでたたかないでください。
破損の原因となります。



5 クリーンフィルターを取り付ける

クリーンフィルターとダストケースカバーそれぞれの△マークを合わせ、取り付けます。

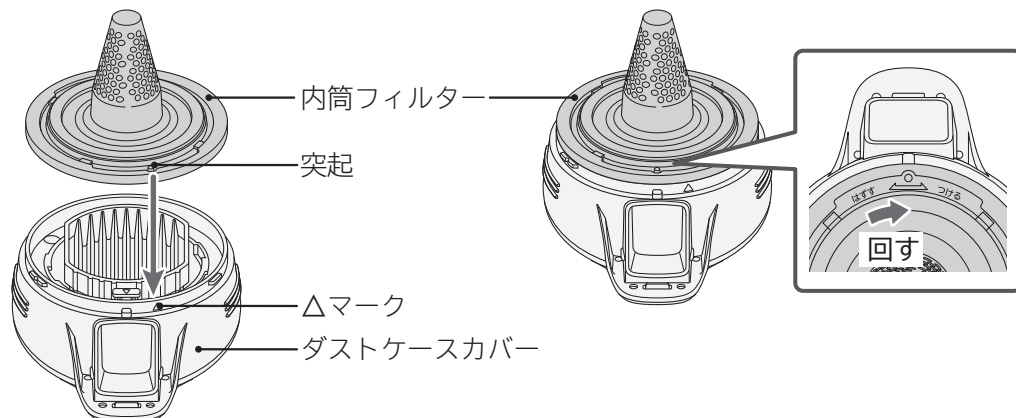


6

内筒フィルターを取り付ける

1 内筒フィルターの突起を、ダストケースカバーの△マークに合わせる

2 内筒フィルターを、「つける」の方向に回す

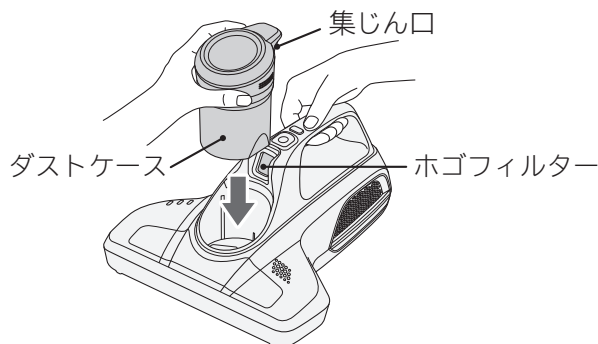


7

ダストケースにダストケースカバーを取り付ける→(P.9)

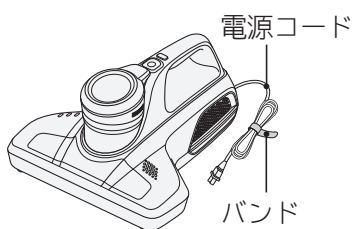
ダストケースの取り付けかた

ダストケースの集じん口の向きをホゴフィルター部に合わせ、本体にしっかり奥まで取り付ける



あとかたづけ

電源コードは、バンドで束ねて保管してください。



警告

火災・感電のおそれあり

無理に曲げたり、ねじったり、きつく束ねたり、針金などで束ねないでください。



注意

けがをする・家具に傷を付けるおそれあり

電源プラグを抜くときは、電源プラグを持ってください。

電源プラグを持つ



お願い ストープの近くや直射日光が長時間当たるなど、高温になる場所での収納はしないでください。故障の原因となります。

吸込力が弱くなったら

「電源ランプが点滅した」、「吸込力が弱くなった」とき

- ダストケース・ダストケースカバー・各フィルターをお手入れ(水洗い)してください。
- 強い吸込力で掃除していただくため、こまめなお手入れをおすすめします。

各フィルターを水洗いしたときは、十分に自然乾燥させてください。

クリーンフィルターの乾燥には約24時間必要です。(乾燥時間は、環境や季節によって異なります)



警告

感電・けがのおそれあり

お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

お願い

- お手入れの際に細かなほこりが舞い上がることがあります。
屋外など、換気のよい環境でごみ捨てをしていただくか、マスクを着用するなどして、ほこりを吸い込まないようにしてください。
- 付着しているごみは軽く落としてから水洗いしてください。

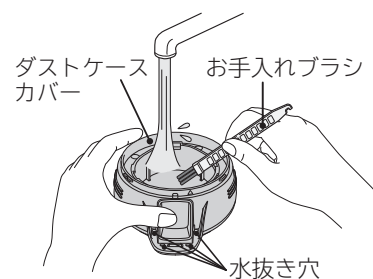
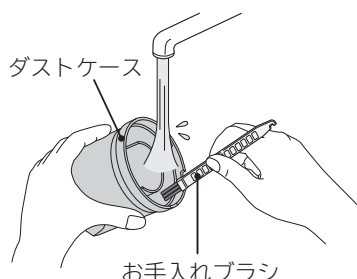
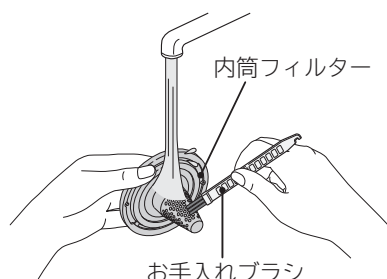
各フィルター

内筒フィルター・ダストケース・ダストケースカバー

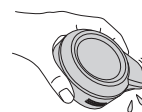
1

お手入れブラシで水洗いする

内筒フィルター、ダストケース、ダストケースカバーを取り外して水洗いしてください。→(P.9)



水抜き穴を下にし、ダストケースカバーを振って水分を切ってください。



2

自然乾燥させる

乾燥時間は、環境や季節によって異なります。

3

内筒フィルター・ダストケース・ダストケースカバーを取り付ける

取り外した逆の手順で取り付けてください。→(P.9、11)

お願い

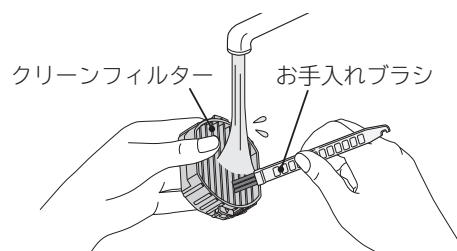
内筒フィルターはしっかり取り付けてください。しっかり取り付けしていない状態で本体を運転した場合、内筒フィルター付近から異音が発生することがあります。

クリーンフィルター

1

お手入れブラシで水洗いする

- クリーンフィルターを取り外して水洗いしてください。→(P.10)
- クリーンフィルターのひだの奥にたまったごみを水で流してください。



注意

けがのおそれあり

ガラスの破片や虫ピンなど鋭利なものを誤って吸い込んでいる場合があります。注意してお手入れしてください。

2

自然乾燥させる

クリーンフィルターの乾燥には約24時間必要です。(乾燥時間は、環境や季節によって異なります)

3

クリーンフィルターを取り付ける

取り外した逆の手順で取り付けてください。→(P.10)

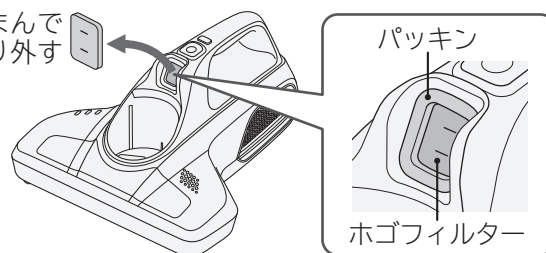
ホゴフィルター

1

ホゴフィルターを取り外す

- ダストケースを取り出し、ホゴフィルターを取り外してください。→(P.8)
- パッキンは取り外さないでください。

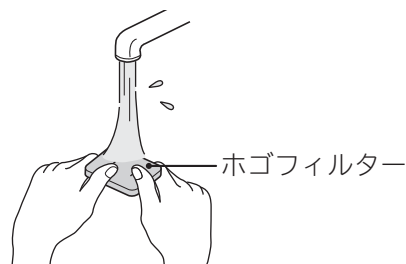
つまんで
取り外す



2

水で軽く押し洗いする

- たたいて水気を切り、約12時間自然乾燥させます。(乾燥時間は環境や季節によって異なります)
- 乾燥後に本体に取り付けます。



お願い

- 洗濯機で洗ったりしないでください。また、ヘアードライヤーなどの熱風で乾燥させないでください。性能の低下や破損・変形の原因となります。
- フィルターはもみ洗いしないでください。破損・変形の原因となります。
- 付着しているごみは、軽く落としてから水洗いしてください。
- 付属のお手入れブラシ以外のブラシは使用しないでください。破損の原因となります。
- 各フィルターを水洗い後は十分に自然乾燥させてから取り付けてください。ぬれたままご使用になると、フィルターが早期に目詰まりし、吸込不良や異臭発生の原因となります。
- ダストケースおよび各フィルターは、取り付けで運転してください。モーター部にごみが侵入すると、本体内部のフィルターが目詰まりして、本体から異音が発生することがあります。その場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。→(P.18)
- 各フィルターを水洗いしても吸込力が弱い場合は、クリーンフィルターなどの劣化が考えられます。取り替えをご希望される場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。→(P.18,19)

お手入れのしかた



警告

感電・けがのおそれあり

お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いてください。



注意

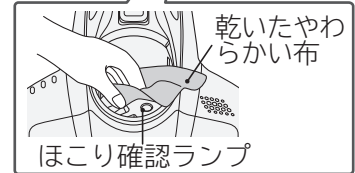
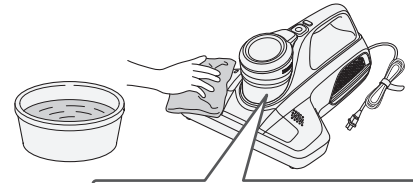
けがのおそれあり

ベンジン、シンナー、アルコール、洗剤、漂白剤や化学ぞうきんなどを使用しないでください。破損の原因となります。

本体

汚れが気になるときは、やわらかい布に水を含ませ、よく絞ってからふいてください。

ほこり確認ランプに付着したごみは、乾いたやわらかい布で拭き取ってください。



吸込口

●吸込力が弱くなったり、汚れが気になるときはお手入れしてください。

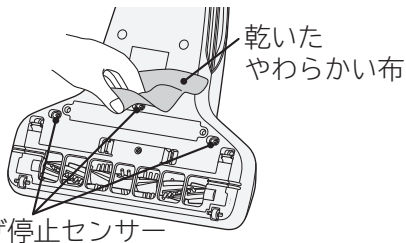
●定期的なお手入れ(月1回程度)をおすすめします。

持ち上げ停止センサー、パワーブラシ、車輪にごみが付着していると、吸込力の低下や故障の原因となります。

お願い ダストケースを本体から取り外してお手入れしてください。→(P.8)

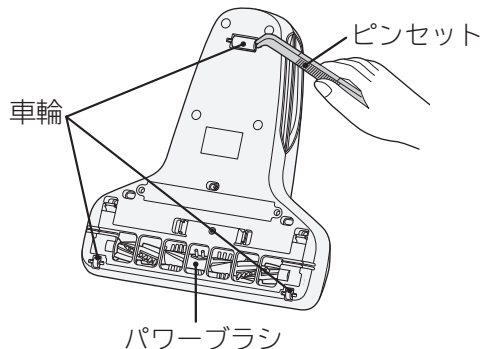
付着したごみを取り除く

持ち上げ停止センサーに付着したごみは、乾いたやわらかい布でふき取ってください。

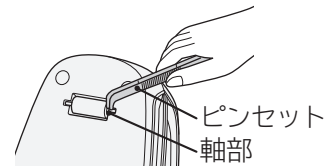


絡みついたごみを取り除く

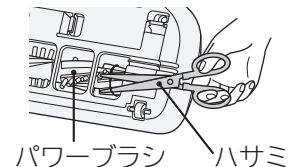
絡みついたごみを、ピンセットなどで取り除いてください。



軸部に絡みついたごみはピンセットなどで取り除く



パワーブラシに絡みついたごみはハサミなどで切って取り除く



注意

布面に傷を付けるおそれあり

●車輪にごみが絡みつくと、車輪が回転できず、摩耗と布傷つけの原因となります。

●車輪、パワーブラシが摩耗しているときは、お早めにお買い上げの販売店にご相談ください。→(P.18、19)

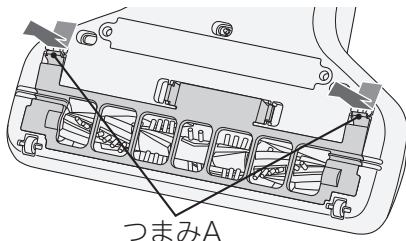
お願い 持ち上げ停止センサー、車輪に無理な力を加えないでください。破損の原因となります。

パワーブラシをお手入れする

1

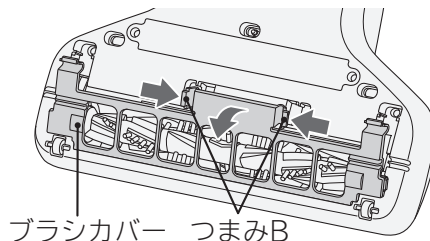
ブラシカバーを取り外す

- 1 つまみAを押しながら手前に引く
つまみAのつめを外します。



2

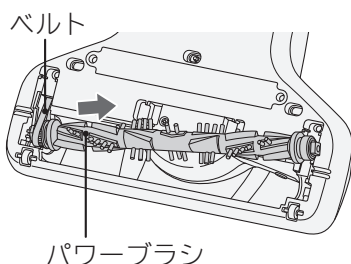
- つまみBを内側に押しながらブラシ
カバーを引き起こし、取り外す



2

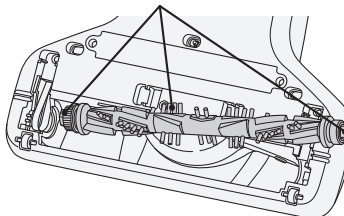
パワーブラシを取り外し、ごみを取り除く

- 1 パワーブラシを持ち上げ、ベルトから
パワーブラシを外す

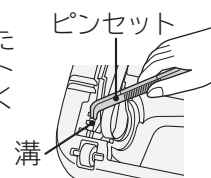


- 2 パワーブラシを取り外してごみを取り除く

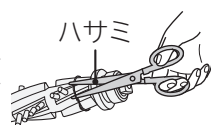
ごみを取り除く



溝に絡みついた
ごみはピンセット
などで取り除く



パワーブラシに
絡みついたごみ
はハサミなどで
切って取り除く

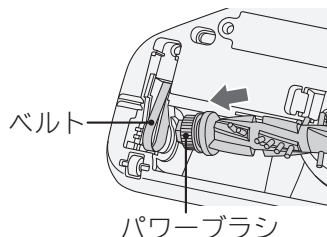


お願い パワーブラシは水洗いしないでください。故障の原因となります。

3

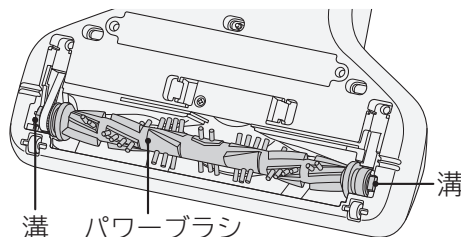
パワーブラシを取り付ける

- 1 パワーブラシをベルトに掛ける



2

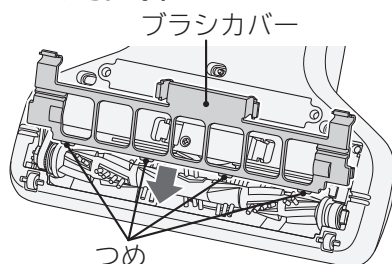
- パワーブラシを溝に合わせて取り付ける



4

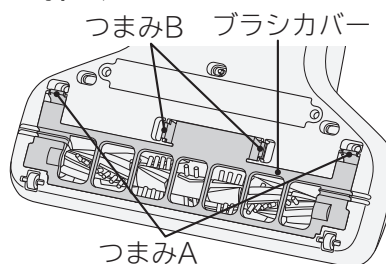
ブラシカバーを取り付ける

- 1 ブラシカバーのつめ(4か所)を本体の穴に
合わせ、引っ掛ける



2

- つまみAとつまみBを、「カチッ」と音がする
まで押し込む



お願い

- ブラシカバーは取り付けて運転してください。
- ブラシカバーを取り付ける際には、つめを先に引っ掛けてください。破損の原因となります。
- つまみが確実に押し込まれていることを確認してください。

お困りのとき

修理を依頼される前に

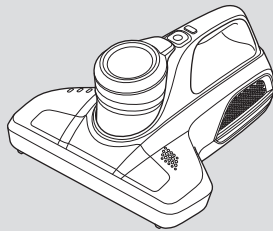
次の点をもう一度お調べください

運転できない、パワーブラシが回転しない

次の直しかたにより保護装置を解除してください。
保護装置が作動している場合があります。

保護装置と原因

運転できない

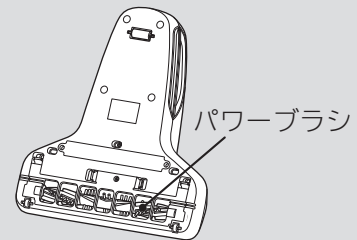


モーターの過熱を防ぐために、自動的に電力を抑える保護運転になることがあります。さらにこの状態で運転を続けると、自動的に運転を停止します。
(パワーブラシのみ回転し続ける場合があります)

クリーンフィルターのごみ詰まり

吸込口をふさいだままの運転

パワーブラシが回転しない



パワーブラシに異物を挟み込んだ状態で運転を続けると、モーターの過熱を防ぐために、自動的にパワーブラシの回転を停止します。

異物の挟み込み

ふとんや布などへの押しつけ

直しかた

運転スイッチを押して、運転を止める

ごみ捨て/ダストケース・各フィルターのお手入れをする

→(P.8~13)

吸込口をふさいでいるものを取り除く

パワーブラシに挟み込んだ異物を取り除く

→(P.14)

ふとんや布などに強く押しつけない

約5分後～60分後に保護装置が解除され、再びご使用いただけます。

■その他の症状

症 状	確認するところ	直しかた	ページ
吸込力が弱い	ダストケースのごみがいっぱいになっていませんか。	ダストケースのごみを捨ててください。	P.8～ P.11
	各フィルターにごみが付着していませんか。	各フィルターのお手入れ(水洗い)をしてください。	P.12 P.13
	吸込口にごみが詰まっていますか。	ごみを取り除いてください。	P.14
	延長コードを使用したり、ほかの電気製品と同時にコンセントをご使用になると、電源電圧の低下により、正常に運転できない場合があります。定格15A以上・交流100Vのコンセントを単独でご使用ください。		—
運転中に吸込力が弱くなる	電源ランプが点滅していませんか。	各フィルターのお手入れをしてください。	P.12 P.13
急に吸込力が弱くなり、しばらくすると回復する	吸込口を押しつけたり、ふさぐようにしてふとんなどをお掃除していませんか。	モーターの過熱防止のため、自動的に電力を抑える運転をしています。異常ではありません。 ●回復ににくい時は、スイッチを切ってしばらく放置してから、もう一度運転をしてください。 ●回復後、力を入れずにすばらせるように軽く動かしてください。	—
運転しない 運転が止まる	電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか。	しっかり差し込んでください。	P.5
	ハンドルを持ったまま電源プラグを差し込んでいませんか。	一度電源プラグを抜き、ハンドルから手を離して、再度電源プラグを差し込んでください。	P.5
	運転のランプが青点滅していませんか。	待機状態もしくは自動停止中です。ハンドルを正しく持って運転を再開してください。	P.5～ P.7
	ハンドルセンサー部を正しく持っていますか。	ハンドルを正しく持って運転を再開してください。	P.5、6
	各フィルターにごみが付着していませんか。	各フィルターのお手入れをしてください。	P.12 P.13
排気や本体があたかくなる(特に夏場)	空気の流れで本体モーターを冷却しているためで、異常ではありません。		—
排気から異臭がする	各フィルターにごみが付着していませんか。	各フィルターのお手入れ(水洗い)をしてください。	P.12 P.13
	水洗い後のフィルターの乾燥が不十分ではないですか。	水洗い後は、十分に自然乾燥させてください。	P.12 P.13
異音が出る	フィルターが目詰まりした場合、本体から異音が発生することがあります。お買い上げの販売店にご相談ください。		P.18
パワーブラシが回転しない、または回転しにくい	パワーブラシが「切」設定になっていませんか。	もう一度、「パワーブラシ切/入」スイッチを押してください。	P.5
	本体が布面からはみ出したり、浮いていませんか。	布面からはみ出したり浮かせると止まる構造になっています。本体を布面からはみ出さないようにつけてください。	P.7
	パワーブラシにごみなどが付着していませんか。	ごみを取り除いてください。	P.14
	持ち上げ停止センサーにごみなどが付着していませんか。	ごみを取り除いてください。	P.14
	黒や紺など暗めの色のふとんや毛布など、生地の種類や状態によっては、持ち上げ停止センサーが作動し、パワーブラシの回転が止まる場合があります。		P.7
ダストケース付近から異音が出る	本体にダストケースが確実に取り付けられていますか。	確実に奥まで取り付けてください。	P.11
	クリーンフィルター・内筒フィルターが確実に取り付けられていますか。	確実に取り付けてください。	P.10 P.11
確認してもまだ異常がある場合		ご自分で修理をなさらないで、お買い上げの販売店へご相談ください。	P.18

保証とアフターサービス (よくお読みください)

保証書

- この商品は保証書付きです。
保証書は販売店で所定事項を記入してお渡しいたします。
記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。

保証期間	お買い上げ日から1年間です。
保証期間中は	修理に際しましては、保証書をご提示ください。 保証書の規定に従って、修理させていただきます。 [持込修理対象商品]
保証期間が 過ぎている ときは	修理して使用できる場合には、ご希望により 有料で修理させていただきます。

修理を依頼されるときは（持込修理）

「お困りのとき」→(P.16、17)に従って調べていただき、
なお異常のあるときは、ご使用を中止し、電源プラグを
抜いてから、お買い上げの販売店にご相談ください。

お知らせいただきたい内容

1.型式:PV-FC100 2.症状:できるだけ詳しく

補修用性能部品の保有期間

この掃除機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り
後6年です。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持
するために必要な部品です。

部品について

- 修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用する
ことがあります。修理のために取り外した部品は、特段のお
申し出がない場合は、弊社にて引き取らせていただきます。
- 商品のデザイン、定格、仕様、補修用性能部品等は改良等の
ため、予告なく一部変更することがあります。

長時間ご使用になるとき

- 一日のご使用時間が極端に長い場合や、共同(寮など)で
ご使用になる場合には、短期間で部品の交換(モーターなど)
が必要になることがあります。お買い上げの販売店にご
相談のうえ、定期的な点検を受けてご使用になることを
おすすめします。
- このような場合は、保証期間中でも有料になることがあります。

※この掃除機は家庭用です

転居されるとき

- ご転居により、お買い上げの販売店のアフターサービス
を受けられなくなる場合は、前もって販売店にご相談く
ださい。ご転居先での日立の家電品取扱店を紹介させて
いただきます。
- 電源周波数の異なる地区へのご転居に際しても、部品の
交換は不要です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの
販売店または、「ご相談窓口」(下記)にお問い合わせください。

修理料金の仕組み

修理料金=技術料+部品代などで構成されています。

技術料	診断、部品交換、調整、修理完了時の点検など の作業にかかる費用です。技術者の人件費、技 術教育費、測定機器などの設備費、一般管理費 などが含まれます。
部品代	修理に使用した部品代金です。そのほか修理に 付帯する部材などを含む場合もあります。

愛情点検



長年ご使用の掃除機の点検を！

ご使用の際、
このような
症状はあり
ませんか？

- スイッチを入れても、運転しない
- 電源プラグやコードを動かすと、通電したり
しなかったりする
- 運転中、時々止まる
- 運転中、異常な音がする
- 本体が変形したり、異常に熱い
- 電源コードが破損しているまたは異常に熱い
- こげくさい“におい”がする
- そのほかの異常がある

ご使用
中 止

事故防止のため、
すぐにスイッチを
切り、電源プラグ
を抜いて、販売店
へ点検・修理を依
頼してください。

この製品の使い方・お手入れ・修理などは、お買い上げの販売店へご相談ください

なお、転居されたり、いただいたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

※下記窓口の内容は、予告なく変更させていただく場合がございます。

ホームページに「よくあるご質問」について記載しておりますので、ご活用ください。

https://kadenfan.hitachi.co.jp/support/q_a/index.html

商品情報やお取り扱いに関するご相談窓口

TEL 0120-3121-11
携帯電話・PHSから 050-3155-1111 (有料)
FAX 0120-3121-34
(受付時間) 9:00~17:30(月~土)、9:00~17:00(日・祝日)
年末年始は休ませていただきます。

修理のご依頼や修理に関するご相談窓口

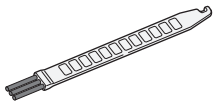

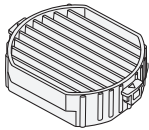
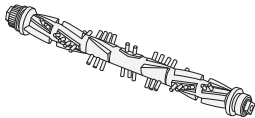
TEL 0120-3121-68
携帯電話・PHSから 0570-0031-68 (有料)
FAX 0120-3121-87
(受付時間) 9:00~18:00(月~土)、9:00~17:00(日・祝日)

- 「持込修理」については、上記窓口より各地区のサービスセンターをご紹介します。
 - ご相談、ご依頼いただいた内容によっては弊社のグループ会社に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。
 - 修理をご依頼いただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただくことがあります。
- 部品のご購入は、商品お買い上げの販売店、お近くの日立の家電品取扱店(お取り寄せ)または下記の「パーツショップ」へご依頼ください。
日立の家電消耗品・部品直販「パーツショップ」 <https://parts.hitachi-cm.com/pshop/>

別売り部品

日立の家電品取扱店でお求めください。

付属応用部品や、補修用性能部品もお買い求めいただけます。

お手入れブラシ	ホゴフィルター
 サービスパーツ PV-FC100-015 お手入れブラシをご指定ください 希望小売価格 300円(税別)	 サービスパーツ PV-FC100-011 ホゴフィルターをご指定ください 希望小売価格 300円(税別)
クリーンフィルター	パワーブラシ
 サービスパーツ PV-FC100-014 Bフィルターをご指定ください 希望小売価格 1,000円(税別)	 サービスパーツ PV-FC100-004 ロータリブラシクミをご指定ください 希望小売価格 2,400円(税別)

上記希望小売価格は、価格改正に伴い変更する場合があります。

仕様

この製品は日本国内家庭用です。電源電圧や電源周波数の異なる海外では使用できません。
また、アフターサービスもできません。

型 式	PV-FC100
電 源	100V 50-60Hz共用
消 費 電 力	450W ~ 約350W
集 じ ん 容 積	0.15L (ごみすてラインまで)
コ ー ド の 長 さ	5m
質 量	2.4kg
本 体 寸 法	長さ332mm×幅295mm×高さ180mm
付 属 応 用 部 品	お手入れブラシ.....1本

保証とアフターサービス
別売り部品
仕様

日立ふとんクリーナー 保証書

持込修理

この保証書は取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書きに従った使用状態で保証期間内に故障した場合に、本書に記載されている内容に基づき、無料修理をお約束するものです。無料修理をご依頼になる場合は、お買い上げの販売店に商品と本書をご持参ご提示ください。

型 式	PV-FC100	※ お 買 い 上 げ 日	保 証 期 間
		年 月 日	本体：1 年
※ お 客 様	ご 住 所		
	お 名 前	様	
※ 販 売 店	ご 住 所		
	お 名 前	様	
	電 話	()	

※印欄に記入のない場合は無効となりますから、記入の有無をご確認ください。

- 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
(イ)使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障および損傷。
(ロ)お買い上げ後の取付場所の移動、落下、輸送などによる故障および損傷。
(ハ)火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、塩害、公害、ガス害（硫化ガスなど）や異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）による故障および損傷。
(ニ)一般家庭用以外《例えば業務用などへの長時間使用および車両（車載用を除く）、船舶への搭載》に使用された場合の故障および損傷。
(ホ)業務用に使用されて生じた故障および損傷。
(ヘ)本書のご提示がない場合。
(ト)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
- この商品は持込修理の対象商品です。郵送などで修理依頼された場合の送料などはお客様のご負担となります。また、出張修理をご希望の場合には、出張に要する実費を申し受けます。
- ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
- 贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合にはご相談窓口→(P.18)にご相談ください。
- 修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
修理のために取り外した部品は、特段のお申し出がない場合は、弊社にて引き取らせていただきます。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保存してください。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.

- この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
したがってこの保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはご相談窓口→(P.18)にお問い合わせください。
- お客様にご記入いただいた保証書の写しは、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。
- 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは、「保証とアフターサービス」→(P.18)をご覧ください。

修理メモ

日立グローバルライフソリューションズ株式会社

〒105-8410 東京都港区西新橋2-15-12
電話 (03) 3502-2111